

<第4334回>

目的地：伊吹山

担当者：松岡

実施日：2023年2月11日(土)

形式：雪山ハイキング

費用：¥6,220.-

参加者：3名

天気：晴れ

行程：

行き [JR]大阪駅(6:21)<快速 米原行き>⇒(8:06)米原(8:25)乗換<新快速 豊橋行き>⇒(8:34)近江長岡
[乗合タクシー(まいちゃん号)]近江長岡(8:40)⇒(9:00)伊吹山登山口

登山口(9:10)⇒(9:50)1合目⇒(10:50)3合目⇒(11:30)5合目⇒(13:00)伊吹山 昼食(13:50)⇒(15:10)5合目
⇒(15:40)3合目⇒(16:50)登山口

帰り [乗合タクシー(まいちゃん号)]伊吹山登山口(17:30)⇒(18:00)近江長岡 解散

感想：

前日の金曜は雨、当日の土曜は快晴で初春のような暖かさであり、登山口から2合目までは泥ドロ道で、コースタイムより時間がかかり、思わず今年は雪少ないか？とみんなボヤいてました。夏の暑い時期に、伊吹山の例会に参加した人達は、さぞキツかっただろうとその気持ちがわかりました。途中、南方面に、雪をかぶった霊仙山の雄姿が見えたのが救いでした。3合目から雪が徐々に現れたので、他の登山者に倣い、アイゼンを装着しました。アイゼンを付けると、雪道も足を取られず、軽快に歩くことができました。そして、6合目の避難小屋に到着。嬉しいことに6合目からは、60cm~80cm ぐらいの雪があり、九十九折りの夏山道ではなく、頂上まで直登を楽しむことができました。コースタイムよりも短い時間で登れました。頂上では冬は空気が澄んでいるせいか、360度の景色が楽しめ、琵琶湖や比良山系の雪化粧がとても綺麗でした。東方面に、かっこいい山容の山が見え、どこの山か、地元の登山者に聞くと、なんと御嶽山でした！

帰りの下りルートは、思案した結果、行きに直登したルートを激下りしました。ただし、ピッケルを持ってくることを失念していたので、代わりにストックを使用して、慎重に雪の急坂をゆっくり下りました。2合目からは行きのドロ道は乾いていました。伊吹山のコースはやはり長くて疲れましたが、何とか予定通り17:00までに登山口に戻ることができました。今年もいい雪山体験ができました。参加者のみなさん、ありがとうございました！

特記：

JR 近江長岡から登山口までの交通機関について、冬季は、バスは運休となり、代わりに、乗合タクシー(まいちゃん号)が1人800円で利用可能です。